

保健講演会を実施しました！



11月14日(木)6・7限に、今年も古山美穂先生(大阪府立大学看護学研究科准教授、助産師・看護師)を講師にお招きして、1年対象の保健講演会を行いました。

講演のテーマは「**あなたがいるということ ～自分の存在の尊さ、命の大切さを知る～**」で、交野高校では3年前から実施しています。(講演会の写真は2017年度のものです。)



※講演会の後、HR教室で感想を各自まとめました。一部を紹介します。

★初めて聞いてみて、人と人との考え方にしっかり向き合う時間を過ごせたかなと思いました。こういう機会があるからこそ一から考えられるし、なるほどと思うところがたくさんあったので……。新たな生命が誕生する瞬間は、計り知れず幸せなんだなと思いました。その瞬間を共にするお仕事はとても大変だと思うけど、とてつもなくやりがいを感じるんだろうなと思いました。とても良かったです！！

★生まれるということがどれだけすごいことか改めて考えさせられました。「ここにいる280人一人ひとりが奇跡みたい」という言葉が一番心に刺さりました。生まれてもお母さんが亡くなってしまったり、お父さんしかいない子や虐待を受けて精神的にも身体的にもボロボロになった子でも、生きていても良いんだと思い知らされた講演でした。自殺って言葉が結構出てきて、自分の一つしかない大切な命を自分で捨ててしまうということの残酷さを考えさせられました。

★私は自分について考えることがあるのですが、今回の講演を聞いて色々な人生の生き方のヒントを得ることができて良かったです。「社会」規模で考えるのは、まだ難しいことですが、小さなところから変えていきたいと思いました。私も自分自身、生きていても意味ないのかな…とと思っていましたが、自分の存在が小さくても影響を与えていると思うと意味無いわけではないのかなと思いました。悩める時に悩める今が一番幸せなのかなと思いました。

★自分は16年生きてきて特に幸せじゃないという人生ではなかったけど、今日の講演を聴いて改めて人に対する価値観であったり、親への感謝を実感しました。……確率上ほんの少しの確率で産んでくれた親に感謝したいです。今は反抗期であまり話さないけど話せるよう努力します。

★私は生まれてきたことに対して「奇跡だな」とか考えたことがあまり無かったので、今日の講演を聴いて重く感じました。男女が結びつくことも運命だし、自分が生まれることの神秘を感じました。私は自分に自信が無いです。でも講演を聴いて他の人と比べることはとってもバカらしいなと思いました。自分は自分だし、あまり能力とかルックスを気にしないで行こうと思いました。あとお母さんに対して「ありがとう」というのが恥かしく思っていたので、これからもっと感謝の気持ちを伝えていきたいと思いました。

★命を大切に、という言葉はよく聞くけれど、それってどういうことだろうと思ってても考えることもしなかった。女の人の子供を産みやすい、産後も働きやすい社会を作りたいと言っている古山さんはかっこいいと思った。それと同時に男の人も休暇を取りやすい社会だったり、誰もが生きやすい世の中になればいいなと思います。そのために自分も何かできることをします。

★題名を聞いた時はどんな講演なのかあまり思い浮かばなかったけど、講演を聞いて一人ひとり大切な存在で命を大切にしようと思いました。育児でいろいろな悩みがあってもパートナーや周りの人の支えが必要で何歳になっても1人で生きていくことはできないと知りました。これまで親や友達に支えてもらった分、私も誰かを支えていけたらいいなと思います。ビデオでは貴重な場面を見ることができて良かったです。お父さんとお母さんが自分たちの赤ちゃんを取り上げたシーンに感動しました。

★今日の保健講演会で色々な事を聞いて、世の中にはそれぞれ違った様々な意見があるのだと改めて思いました。自分のことで精一杯になってしまうだけでなく、それをどう変えて、どう受け止めていくかということも難しいことなのかなと思いました。命が生まれることの難しさ、子供を育てることの大変さなどよく分かりました。改めて命は大切にしないといけないと思いました。

★自分は1人じゃないのだと感じられる講演だと思いました。助産師の方の言葉一つ一つが心に刺さって感動しました。特に最後の動画は本当に感動しました。本当は子どもが好きで産みたくても産めなくて辛い思いをしている人もいるのに、産んだ後子どもを捨てる人もいて不公平だなと思いました。動画の二人は子どもを授かることができると本当に良かったと思いました。

★自分たちが生まれてきた事は決して当たり前なことではなく、それぞれいくつかの奇跡が起きて、奇跡的に誕生してきたのだと改めて感じました。助産師という職業について詳しく考えたことはあまり無かったのですが、今回詳しく学んだことにより命の尊さ、1つの命を作るということの覚悟など、多くのことを知れました。男女間のパートナーとの考え方のすれ違いなどによるトラブルはよくあることであり、今後日本が少子化をマシにするためにも解決していかなければならない点なのだと感じました。最後のビデオでは出産の大変さが感じ取れました。産まれる事、産む事、どちらも命をかけたことなのだと改めて実感できました。

★出産の動画が本当にインパクト、すごかったです。動画を観賞中に笑っていたりする人もいて、すごく残念だったけど、結局そういう人達が育児に協力できないんだろうなと思って、そういう面でも勉強になりました。私には家族がいて、自分の「価値観」があるけど、周りの人には周りの人の家族の「価値観」があるので、そこが噛み合わない、一緒に育児をすることは難しいんだなと思いました。助産師さんがA男さんに、お父さんスイッチを押してあげることも助産師の仕事と言っていて「お母さんのお産の手伝いもしながら、家族のケアもするんだ」と思って、すごく素敵なお仕事だと思いました。

★人に優しくできる、ということは考えてみると自分の心が満たされているからこそできる行動なのかな、と思いました。どうしたら自分のハニーポットは満たされるのか、自分のハニーポットの大きさはどのくらいなのか、疲れやストレスが溜まってしまった時にどうやって発散するべきなのかを改めて考え、今後周りの人達に優しくしていける存在でありたいと思いました。今までは既存の固定観念や、大人達が作ったような考えだけにとらわれて、ものの見方というものが狭かったので、そういったものに縛られず自由な考えも持ち合わせて様々な人と関わりを持って、今後の人生をより良いものにしていきたいと思いました。

